

令和3年度(2021年度)

管理事業名	公園緑地事業				総合計画の体系	大綱 6 都市形成 政策 1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 施策 3 みどりの保全と創出
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 2 公園整備費
部局名	土木部	予算執行所属	公園みどり室			
予算大事業名 公園緑地事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 【目的】 公園緑地等は市民生活にうるおいと安らぎを与え、また憩いの場や災害時の避難地となります。そして適切な公園緑地等の維持管理を図ることにより、市民及び利用者が安全に安心して利用していただき、満足してもらうものです。 【概要】 ・樹木の剪定、除草、施設の点検及び修繕などの維持管理 ・公園緑地等の整備 ・公園緑地等の管理に関する協議及び許可						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
市で管理する都市公園等の管理面積	ha	221.95	222.39	222.41	吹田市管理の都市公園・遊園・緑地・緑道の面積
緑あふれる未来サポーター登録団体数	団体	101	91	96	市民協働による維持管理の団体数
成果の説明	・都市公園等面積の増加は、開発行為に伴う移管遊園によるものです。 ・緑あふれる未来サポーターの登録団体数は、高齢化による会員数の減少等により、登録団体数も減少しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	60,365	57,171	59,676	2,505
国庫支出金(経常費用充当)	-	9,900	44,000	34,100
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	32,478	32,478
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	556	1,225,881	1,039	△1,224,842
経常収入 小計(a)	60,921	1,292,952	137,193	△1,155,759
経常費用				
給与関係費	212,775	213,077	238,588	25,511
物件費	559,615	640,601	659,423	18,821
維持補修費	195,529	352,075	261,587	△90,488
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	3,453	3,469	3,432	△37
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	52,542	52,654	55,265	2,611
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	15,481	14,823	14,922	99
退職手当引当金繰入額	16,714	△1,598	21,087	22,685
支払利息	10,299	9,141	7,287	△1,854
その他	30,397	-	1,255	1,255
経常費用 小計(b)	1,096,803	1,284,241	1,262,845	△21,396
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△1,035,883	8,710	△1,125,652	△1,134,362
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	14,000	871,025	65,466	△805,559
特別収入 小計(d)	14,000	871,025	65,466	△805,559
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	14,000	871,025	65,466	△805,559
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△1,021,883	879,735	△1,060,186	△1,939,921
一般財源充当額	1,064,453	1,350,036	1,223,053	△126,983
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	42,570	2,229,772	162,867	△2,066,905

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
国庫支出金(経常費用充当)	緑化重点地区におけるグリーンインフラ事業 社会資本整備総合交付金 44,000千円 (+34,100千円)
寄付金	ふるさと寄附金(指定寄附)32,478千円 (+32,478千円)
維持補修費	年度による工事請負費の増減によるもの 工事請負費 255,878千円 (△90,239千円)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	60,921	67,082	137,193	70,111
行政サービス活動支出	1,009,204	1,248,033	1,197,466	△50,567
行政サービス活動収支差額	△948,283	△1,180,951	△1,060,273	120,678
投資活動収入	21,000	20,000	27,331	7,331
投資活動支出	-	1,255	-	△1,255
投資活動収支差額	21,000	18,745	27,331	8,586
財務活動収入	61,700	16,200	53,100	36,900
財務活動支出	198,869	204,031	243,211	39,181
財務活動収支差額	△137,169	△187,831	△190,111	△2,281
収支差額 合計	△1,064,453	△1,350,036	△1,223,053	126,983
一般財源充当額	1,064,453	1,350,036	1,223,053	△126,983
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動収入) 環境まちづくり基金からの繰入 8,831千円 (+8,831千円)
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民一人当たりのコスト	令和元年度	373,978 人	2,933 円	実績は微増でありましたが、経常費用に大きな差額が発生しなかったため、単位当たりのコストにも大きな増減はありませんでした。
	令和2年度	376,944 人	3,407 円	
	令和3年度	378,781 人	3,334 円	
公園等1㎡当たりのコスト	令和元年度	2,219,500 ㎡	494 円	実績は微増でありましたが、経常費用に大きな差額が発生しなかったため、単位当たりのコストにも大きな増減はありませんでした。
	令和2年度	2,223,900 ㎡	577 円	
	令和3年度	2,224,100 ㎡	568 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	249,137	266,467	17,330
	未収金	-	-	-	地方債	229,500	228,848	△652
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	14,823	14,922	99
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	4,814	22,697	17,882
					その他流動負債	-	-	-
事業用資産	有形固定資産	199,537,012	199,611,043	74,030	固定負債	995,360	889,246	△106,115
	土地	198,990,449	199,028,485	38,036	地方債	847,421	671,673	△175,748
	建物・工作物	530,096	482,974	△47,122	長期借入金	-	-	-
	リース資産	15,213	99,584	84,371	退職手当引当金	137,434	146,194	8,759
	建設仮勘定	1,255	-	△1,255	リース債務	10,505	71,379	60,874
	無形固定資産	826	778	△48	その他固定負債	-	-	-
	インフラ資産	-	-	-	負債の部合計	1,244,497	1,155,712	△88,785
	重要物品	0	0	-	純資産	198,293,341	198,456,108	162,768
	図書館資料	-	-	-				
	投資その他の資産	-	-	-	純資産の部合計	198,293,341	198,456,108	162,768
出資金	-	-	-					
長期貸付金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	199,537,838	199,611,821	73,983	
基金	-	-	-					
徴収不能引当金	-	-	-					
その他債権	-	-	-					
資産の部合計	199,537,838	199,611,821	73,983					

Ⅲ 財務構造分析

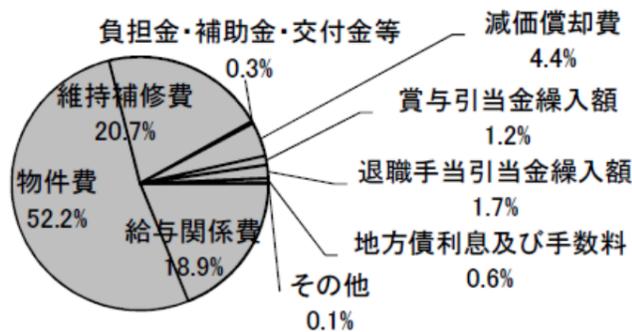
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	
事業従事人数	25.21 人	3967 日	0 日	合計(千円) 274,597
給与関係費等	220,964 千円	53,633 千円	0 千円	
内、時間外勤務手当	6,103 千円			

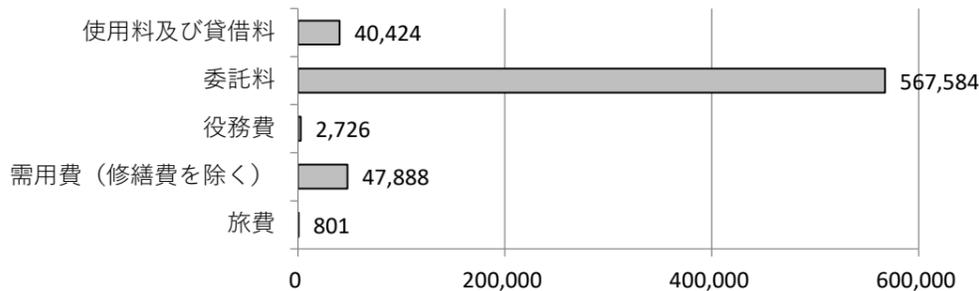
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	開発行為に伴う提供公園 1箇所 224㎡
建物・工作物	減価償却により 47,122千円の減
リース資産	公園灯及び遊園灯リース契約による増加

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	公園施設
取得年月日	昭和31年(1956年)4月21日
建物・工作物の取得価額	1,462,010 千円
建物・工作物の減価償却累計額	979,036 千円
利用料金収入	59,676 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	
施設維持補修費比率		13.4	24.1	17.9	△ 6.2
施設老朽化比率		60.5	63.7	67.0	3.3
受益者負担比率		5.5	4.5	4.7	0.2
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		88.1	92.9	84.9	△ 8.0
経常費用対公共資産比率		75.0	87.8	86.4	△ 1.4

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費659,423千円(52.2%)、維持補修費261,587千円(20.7%)、給与関係費238,588千円(18.9%)となっています。物件費の内訳としては、委託料が567,584千円、使用料及び賃借料が40,424千円、需用費47,888千円、役務費2,726千円となっています。維持補修費率は維持補修費が減少したことに伴い下降しております。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

公園施設老朽化比率が市保有施設全体の老朽化比率を上回って、微増し続けていること、及び開発行為による移管帰属により、管理施設も微増し続けていることから、今後はさらに樹木健全度調査や施設点検業務の結果を活用し、予防保全型管理を進めることによる維持補修費用の平準化が課題と考えています。